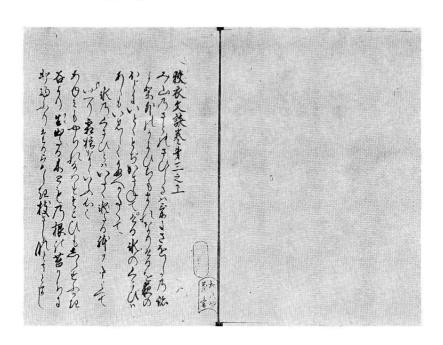
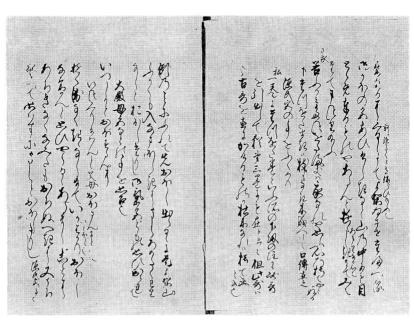
常磐松文庫蔵『狭衣文談』影印三

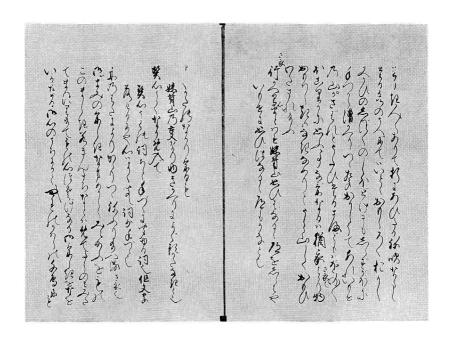


奥田

勲







してきかいろうないてるかん おういまれんないるんかとしいあっている シ、ナショうしんろうちのたしうある かっきょういと もうころういちろうとうとううとうかか ちてまちまいかれてうらろであまっとうく ラントかりまりなりなくしなくまい とのうちょうかるというかしていません えかくなりまれし あとうしまりいるってるとまる とめんしろうりんはまっためかりっちらかし ちいれまりてをこうけるというり シャリまり このせろうりましてもういろうろう 一知いきはころとうろうしていてるやすい 世がううるなくしんえまりしょうとうろう るであるで養生くは、日からりしいんなうでし

二名でもせとううりりからしてはまうい



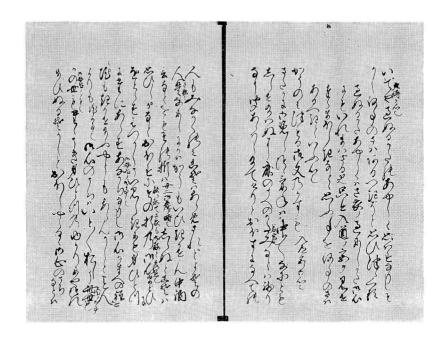
は日のきろまりえけいなるすいかけ のとを持けまとうへかしてもろん るかのりしいりをいくかまうはてをはから するとううからいろくもうりのまし かいろうくそうなかったりませのうまか うつうろろできるとすする」なるのと ついろくちひとくしていれるかくろしょうかっ つうつちつとりく笑とゆっくていっとろろし はのうりれりちゃすりとろいるろ すてをのうくるにうちてのあいるないで れているののはかし 一人ううしもうというとしてりやみれるい いてのてきっちぬるとりてう かましかりる方はまなとろいろうい うりついかんちき なるとわなくめって いようかぬ くてもつり

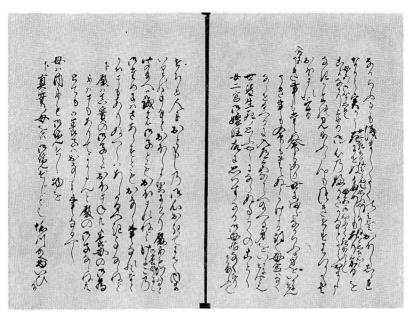
大きれているし、地方のいっからからからいっているし、からのでんすうるかしたからかれているのからいるしょうからいるしょうからからなっているのではあるときない。これがしているのではあるときない。これはあるからなっているしょうからのできない。これののはらいからいるからのできない。



さらの心をかりらいうちくろしてかやろ いてるなとのまですうちついてあるいろうな はつうすりともういろかりますのとうなった あがらしてわるかい するころいますのできるできるいの日日 されんとすくれるのうときのうろと れりつとうとなるしのまてりつくる ナルタンドマラてるとめてする えていらしてきてきいはいざらずか からうれたなりというべくるりかかるし あんかりとうとうるるからかれる なのましているようくはく れるとうないですとうて ときるくちけんとのとういか れるからいくさられるから していっきろるから てすときるつう しゃくかぞ

まりうつりゃている空のまりいま あれるるかとうろきん かしはしかりをしかりたまなかんかん らんるとのすべいったれているかかられ それらんかとうちからうれた目とと ちょうろうりもかちて大ちてもろうと よらればんくるのかっとからっと うれずりつちゃくしついちっち ううろうなりしるからくとならし いあるもりかられてるでするとあるをかり うれるからきかれるうちけられるとある まるいとないしなけてきとからか 2 りぬるうとのろうにを見のとて つる質の目といくやしるうとうにすめる 後のから入を、おいいくしまかりと





1まてはなくまった中文のからううか。

からかいとうないというかんはるでは、



1000 (100 + 0 2) 100 (100 + 0) 1

故院のの事の法には、他一名は、すし

えの名してなりととうかりのというて、 かりといるというとも そろんのするののかいるるというから ろうくるにするるではないとなり りったりゃんとめんはれるんのかるるで うべらいりいてするころやころせいき かんなしろうろろう ちゃくうりつとまるをおのちりううとい ける(まてまりろうするろうろろう ううんのりりうかりいろとすると れてあるとういときしまかしいのとあると いろものできつてるくとのちゃかろうか そのすてときけられてきてまたける方 ちのすらいとんかぞくのころろめとはの立ち くしつるりまいるろく すてもさいろす くなえずちないとれているものは いかりるあろうり いるのからからと うかまくろうさい いろりとうのきってい かかりのるると いってみろうひあ

らいろういろいうはあくととろしろうとう りるにはありまぬなかりからますのでう うくろのいかとりくいかとるしょうろうく 実ましまてかりますはあるしゅうともつ するしてなってもかけるるしれらりと のろいろれのはましてもというからくる るべろういろののいちくるはいま きずれる をこうりろううちけきのけってかしまいる ありてるいろうり 大概見次の中島というしょう 好ななるては路島の歴史とあると と明えいかとすてのとうなくのもも かきるにろいとうとうかりまりて (なしいなるとうならんしなし のはまっとうかくろうとき るからきというと うるるいろめりとん いかもっとかのかい

られていわなりちるるりくちもちまけるから すりけんとうりょうしゃく からはっ なしのあろうさんくういるなのとろいといえ もろいけるをとといれるのありまるす いしりかれてものねとしるでか からずか あがっるしいうれをつかす んあたろうかろうろうろう うないりまるしてもれる 大春にからうとののうけるとくらいつ しもきいろうしますまりてんで からればまるともうやの人をいろ 我家と名言ろうのひまさなかりしろめい そうくういい があしていいとありてしまうまけ てきるとうかちのうてあるする いってあれのよううるとからるりちも しとうしいませます からなっていると うる文章ようからなったこ

たもうとうちょくてんやしいけるそのつえ

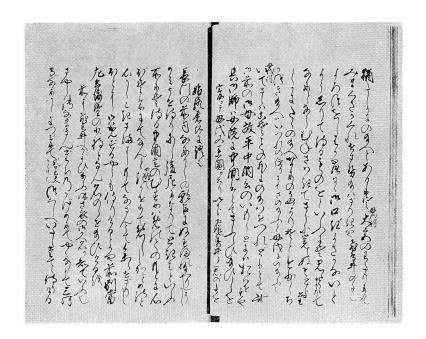
うしんでというしゃこうかとうもれて すれのるならかちなる 数馬のなると りましいろしうどうゆろかろろうていか いいわてかいあるかしなうゆきてこう ありするかとはいうううけられ しいかるころのこうかはきしまっているというと とうすらて入る ろろういろ あるりょくとうち からうつかり なりえるかられていていくしていなりかりろれているけているけているというとともからなり までいるうろいるととまるの とうないとうりているすかととろく うまつてすばしいかくすりなりまちゃと すてのでいますられて まるいれる きってして上品し すりゃてうりをともりののと ならりめてゆりきぞと 1 î つせる うたずらわりるからう してるかり からかけ の人 そいとゆるか 10 10 VOL りあるの へくなーか

すりくすいないからいてもべずらいきありたっちょうところでもからいかりとうといるでもからいかりというできますがらいかりとうとは思するからうつというとうとうとうというなっている まてきいろうといくなどかれのえどる くったとりろと発見るううている ろんろしょなてそのつずめかからてといれ そうちんていとうけるうゆうしょうけるに いるとありそてぬきっちっていたちん はとうとうへいくもろうかりといまないろう すれてつかかいろう うしょのいけばか でというしていくういもいすらあってま それといろうするろのかろろうなとそ しゅううするましてていくし けるけしろとしてと何のわいるないのか かるいしめひいっ るに与うするとはまりいえるいろと るりとらろと 大多な人の後ころようれ~つり相傳の記記 できているのうろうころうとうう したんのりらろうをいると

いくていめりかずくいあとかんとける そうころうますいろうるるろうろ あいましきろいかかくんなろれらいゆう このましいあれていずるようころけらって すしまいいいもうしろうでいる かかしょうつんかのはないとととうとう からもまりからきている しりていてく わがあってきるとの風をくてわるですかりっとう かきるときってもつしいだいまりなる るとうのけられくけっといろからかつ するといないれてりいればいまつまるようい 了であれずてそろろうしろういいろう まってかやしなりときのともあります かなしいなとずりってるならせ かしろもいと しくううろんうはちまるりてすり なうりますりかりつろんなうろろりろいる うったのまといかかりあるなったあまりにか りとかりするとさしろうま

れるのからろし かる くすらからんから というのでんかやうかりして事徒のとうなるとうないのでんかやうなかりして事徒の からないとからいかりついろうしい ぬしいのかんりょうこんとういくにかっちにまいぬるともなすくないかくとうだ いわりまきかずするうてくてなんない 生かるとるす ありするたろうないかりてきるい かしてかしるってるといとれているから るろうかすのかるるいかりるうる ろいわりのかりかからす らて我しからうろかのうであれずしてら そのかいなるろし あるやしておっととといるう(1 うるといんのろしのすしきないとうをころ といろしいんノエンつもそいろういるうついみ とりまりいろ

はいてするていいるいまろうあのうりょう するとというけれたのないかられらしっ のまくいようせっちゃれとのと かからあれいちしかれらかとうはりし ろしのうついてやさずてあしり 人のけるいというとはくめりかりてきなり かけいまくかれてきましてる人気とも うりはきるひろいるともかととると 大りのつけのかりますいろうないともちゃん してってすらましているいとろうかに からいるがったりにってすしている つきすしょうけるまりとうちょ 為したってくりみをいているとめては るちちをなく あつるるしこれのまし あずりりあずりてんとうからりのをちいれる してなりとくはとさなんつうろう発信 るがなれることしてきるのか



さんとからてろいのとろろりろうしてむ うっけっといいからいはんなんなうろうる いそのつうりやけんあくくるるくまでちゃんさん うてならというわるるめとちいるろいてたり しまけてけらるないのなっとのなまだかいようろう るるなろうとくしまとけいるちと うっていれれてまりつるとうち あかいいくちろういわらう何しおあさ さてうるうであるできるいちんこ いのそれい そろうやいの何あるうてんろう ちきとのときいるけれてあのをするうか ういかぞうとうひめるれのかくるくい おちあのとりかはありは からいととなめん かんとうし てかりて とれらけるかにと いまくろかとうかは うるって随意でん からかん

うはりるかれるとうちょうかりに

ちゃとうかかりてきまれているからからん あしてきくすっていくかんかしょうい おらぎりましているとときうりろう からしるかろかかのはってのたし かのうとはいくにしつなっちゃくたれるのまろ そうはかってきしてもしょうめていっ うとめいまりありてきくうつとをすっと 道をといれてきしらりしかりであるとうか ちょううますったのういまてきんのかうくかの すってまれれのうすられいてうとかかとぬけ こうでうる ねらない ましるでするいろしているから 小姐天了 るいのあったていろうかくまるなるのですしまった 明のかうまいるべてのりときょうし けんてるろうしん はまてきからてるなる外の兄。の名のはいりん そいまからういれるにからいまとうけしれ

からうちているかのであるとうちの年

えているうくてするとうなりといいまして

ろうつくりときゃくめているうちょうからくも

ところはなれれれることからいかん

はあるれのものするからあんいれて

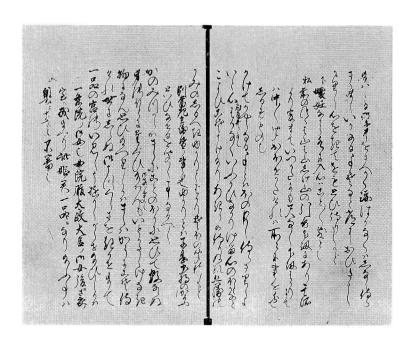
そんほぞくろう



うしいしらいかられとうべめんすとい うゆううれぬってあるうちあろうはわし ころうなどうかいろいれりまるかいから もろ からかくうすしろうるがのすらいろうつき ろからなときは山はのからあというやいと そりょうとういけてしい まっしいいけれんちもうとするでき からつかるのするというしょ いいからないものというと考しるとう りょあるいはとうやけりるなるのの きまれておいろりとしてのかろ もつとうかないのたし 前しもかとうとう事を移りるはついるろ かいはあるなりあるりとれる了るなるの つきとはしとろいろくまとりいしるのと つりゅういまうりか 一个小孩子 うわりてきののられ 一部はつますをよっちゃ ないかられると してきるるる年

するちゃといるのでしているかくまれることであるいとうというかり、まかいまないとないとなるにあるにきなるころいとうというとうないと やりをすってうつくろさいていたんとくとうけんはっているからいなうないできるうてはいかいからると はいりのあるりみりてきいうあとれてある ちつうなりまですつのまついけい まれつりちょうのあれるいなかってらいました かしきないなるというないなめまり つみょりくありなしてからないとしょくくとて くりにちからなりるちろうするしろ うちけいるとないとというわりに なとうちょうなくれるまるたとううてせる そりな様とってもいろうかかかか とうなとろううちんといういいあろ んそのねとなっとのいわつるいといとすれ けのしあうるるとろりというありるに れるはりかしいからはて楊青むとろ 土作のちょうこうつうとるっきるかのだ

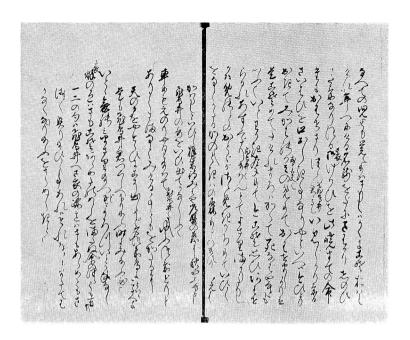
なったいすくなくとくとうでうなかったからいましているくいっとんちいてくれるかられるかられるかられるというない まずかかりまするいけるはのをよらいろても かってきてきかっけりるあるとう れわまりからわさりないまくましたしたいかる なっていいたろうんけっちたころろ そうですときいうりたけずしかからき 命のかととしまいくいましくっとうう とはかってといてもなりはすいとま うるいはずられるいうあるともいとう うるとからられなりうなのとまるくるといせる こはらちんの物ですらりまできることろうか ひってけるちんでするなどれんなとういとかっ まりをはよるりうろう きはかりまるとうからうけてあわるとうと 桐をきるおおうくるりんてかりかれたほう かろうくのろう とうしのかれて ナスひゃくわりょうしてくちむのありてとれとしれて 一幻前でんめてむのわりっとのろろの中になる 人是名一年子说"中人看言会



さうにんときさつかしれりまとのんち すくりとすりというとうしてるくりろ かかいくうはるいとなるつろうなんと ろうとのて名はしろうちゃちゃってれ いているにけりとれるあつるあっかで きるのからまいをなりをありとゆうと からんしまるとう うるのだんずり うしてそれいまでものけきるとける 中心言言相のえないのけるみなかん しついんちしきるいとにな おもろうるなといいまり 一品をなりはううつわるの中間を事なる るけんははいうとできましいし きないるとというしもし しきゅうもちりてきたかとうたうつ すいいまからりくろ かんでんりれたるとちたかってい あると するわりとすりゆう

なめてるかしのいういきないとうないととういきはるからんういちののてからないりませいってもんまないからないしまいまた いるのけっすったの中すかわりてるうち なるとうことのうろんうしてのであるとって するをずらのろうしていとはれてるは でんのうりとときているのうかりろうなり 行いるなってをあいしをあるしてやいかん かずべていれるとうつかれてていてきるい なしまなつしわかしているろうでいっていると かのううちりくまてをけるしらかりて いまとはあめれんのまちともら れるのなといはは一切りはいんあてつする けいしといすっていましょうちゅん というないまってるるかけず まるいい のんちしといくさまくをますいかくたいんりでん たる一品、古へのラテンしとうるっとけっちゃち かろうん

かからいのですしからきなりとのですりかん そんろうかりの人てるみのものしれるからろうきっ 物だけっとはろくいかろいれしちかがへしあるら いってとうはいとうからんないと なくのうとなっていましてのるとなっていいていてい ろうろうけってとめつあけってかえと やれらまったありいからうううるとと かしまかしているとれてもでかしるできた であけらいんらきをかまろうとすいううろちった ありるかし使いておりまるのようけん いるなるだろいろんとうこうかんしかしる んのちかかりからいといろうとある。 あるりゅうととのどりしくてかりませてしる 明めてはあくつかいかかってやちまんう 「風氏像」をようる何に お佐てそりは使ういてけるいてもいりうを食べり あるかのあませのかとろうくとなからし ちる場子了 第数するるし 春をさいらいけるいらの場でかっているいとま



そうちゃくているるとさいていいと 3 今かしありまりまてすれておるいる さんし わるからしていかかっていからい うとあるうちろとはとれてきまいつかる 下提降品で含利布動から対人五降かりうてす かからはうるのまかるましのあくる何し つれる物によってもっかしのりにいするあるいますと まりてきなのうかさと人と知るうりかける すりは得成体すくいろうろと とうちまいまることあるい しずけるかりとうてからとうていいる かとようと みくめての多つり れのののなりませつできた (あくらしかないる) 身,檀有五降一、者 うろろうなと過ぎ 者佛身云何少身 るとようてきへきく 三者電玉 しらないから

うせりはあめままるしのとうちく 海紙井く ちきしてもうつなくろうのあっとて情なの 多してきれるはあてきあすっつらてもち チャのころとでれてするろうちけいい いいけれる問題やいうちときいろう うりまなもあせるりそろうにいっていというまろ タイイ七旬 のろういきまちかれ のすとうらはありし後その方もではしてる もますとうの人 い天のけんあからい帰名の後をきれ いとちてきいてもいいてものなりいきい いつるが概といることが者ったころいれて うかさるのないとゆうなありらんらう するいちぬりあいけっといううと ころういろくあろかりょうにとのまへも となるようのはいのしょうとなるいにいると それてしていたしまてられてこうろいかの すくえつとうはっすしくれいつる様 からうしてからいろうかあからろうだ そうりもやくとめいあるとういるけ しいとそれてあれてい するうつけれとろうと 一門年二十四日

大切なものりの川のは、あり、大いないと のきりかんなのとうすいとくろしたりま 物いいまりいかってかいのおけいるうちょういい うかいりとうはなったてナルよいるてとせの人は されて南ガント からうあうくりしてからによるとなると におってもるないというるり、あればれるとう みつのきてもろろういとからうちかまり てまるらつれろうているいろうひろひらいるいろ とからいうつまなっているといとしている そのちいたまりまかりまりまゆうかりかりつ うれちんしていてるい すらまっかり~くりてり 小佐川文の五といん、上くつります くいしていてしまいているへいとめ、おうにめのつき するなるなくなりてきるるとし からなきなり二月まれといる しっかとすりあましつうしまいっとうん ときいもいかりかりるなとしても るついまますく

するいはつくるのまっとてしあるれるようこうう





こんのていといり すんりゃん かくろと やらとがしとかかちら よううちな相のろしる人と切られます らのあったのうまときあってうつましい あろうわのくなゆりを西の國のようと でいいかろう自いなくかりとというのうそうないり のうらういと思いておとめちかといけれて他 おっきつもいけるとて又多のようろうまり いるかってもううとのいきのひゅうとかてあってあるめ 松但る下上 というてぞれるのりとします。天下るかって 松かちを作るりないようんうけろうろうしてきら 井であれるのできるしょるとしてとう すらてるとなっとしろいういしろきすり かけてけるってうかり 字相のなとなるものけくてかりするしんさ ノ受題職の者ると うかかりしを見れてもかかろうりしのかく かいてつりとうろろかと をそろんすいてするりとはいろ てときとううかりしろうちあく なくまろうろうんいとかられ やってういいあるこんの ~~~~ 127ろりりには

さりれるついとありかりとうた うかけいろう るといくでくのりぬのおければれてるすかとなって やわりしょううないなされてかいっていているとうない れられておうとんうろんないるいいなからうとう そうちとうちょういけいてくろう あっかかちりつかいっというのもくという とろくとるかりゅう とわかるあそく るだけるというかられていろうろのできてき まってうつかりつそくさいろ たしていかいとうかっていちしのかれとの何 んくしてやきましまいわりかりありますものた いるのできるからいっというというというという 先有の名称とのう ついろうにときろうるかいしゃ しゅしてきましているかられ できていているともりつけるか しとといれりのありてうろくろい かとうろいろいろう 人をようけてきまる しまれしていると とかわまかとよ てきつくらいい

うなてゆうあいた 小川かり

のさとういわらわか見とりしかりえるりそくと きるうとおりまりしとの思だしてんすりともう うるるとないうあろうすりまろうてもく りならいるかろうちょういろううと くてらつするいかろんりもあいれりわりといし かられるしまりからっ 付はえきるると極くるてろうのもののいけ ちわるさましまりといろで好面のけんでいまいるは からしましても いうくましてもいうかいるしてか くまるなりまりてるのいいというと できんくなけりもしていきろらいん またなしましとなるとしてりいるが つける場ではずけるしく 大なないですれてしてきいろ もろくるかりるけるす なりあると 16-16ときりている

月日うれぬれるではなりくとからいるいからさ さいううりか後の此ろりしとないをはい ちくかなくとあるするしまうれし いちょうちゅてたるわかりとそのひょうころなを他ちと あってるりわれてきいたますするあとありと も一あるうなとり たったはなべきというとてあること おうれるのはありいいいいかっきりる いしかかくものとくかととろうとのかろうとう 北京 八多院、出 おっていととな ちゃらんないしまれてもちゃりるんな 不行事のろし事~ 一品为好多多人看了那年在地思之品官的 十八座りるはほしちへき切しきをするうろうにとい 和物能の打多し上品中品下品,人,好事ところくち りきずんうのくまやかのきるうしまりるなのろい するがんのりぬとけてとるいろうとはないする 見らと明えのはりとくすりして人のからてりはに そろうしたきりさるため切れての気ます 一多了一一多人的人不多人打的客的人随他是人 の徒とうろ上れるのでにまし中品で記るわる

とくとはううろうへしをなっていてしてまるつか というてきりょうへかなりとうころうかりてといめつよ あくいけりまいて食ぬしているかきろう ちのかりらう一多っちも するかのぞうしいろうすらるわりしてとわりとろ ないしといれていばしているれるいかしかし で文をとれてもきるのであついもわのうとす していいいのでぬくちっくすつねくとっていって きれてするかいつくちょうとて何らいは 大府うしはうりでしるとははないのもちのづくていか とううごうからしてあっているかんと うともずくうらつらりとろういまり うんしゅうろいんといとうつなれているの るはえかけいて一品を宝む一名なって 一お大きまくするくからしてるろうそのあるく 一品文のお房できているとうあしので文使し

ういろろうらくしわやしてきろくい 不らなりろうろうろいうできずてきまる ちつりらうかられるからすけるのもろ 書替のたまのひとめい字相とてすりなとはいます まるうらいりなってとかれずしとわら いつうのもだっましらいりもんとうし すりてえいいろううさっそうものいをは ひってきるのけますってもつきても いかのううとろうしょうしてのあろうるしり りまれてあるしめつとれないとうなうしますら そのかなのとりかってもありかろうかっていいろ らんしれる気のであわりにうきずくおんし いるんまましていまるありんじくうめてやしかか れしてるとうというというというにく けきの魔工人の車とうとととくてあるる うたってはてやいれつはとめかしてなるか つまいうろくはつかりりゃくろうてこの しゅうというこうって何のまとれるひれたいら かからくないのとうとうくうとうりときの 四かるろし中間としいいていかできてないない ときるみなの服者とこれまれまりとういきるが

そのうりくできていまかりろうのである そろうものかにかしのでるの様な問意しろう うてのなはられたのかうはるといか のゆうかられるいかんできるかやるさいないけられ るめれのいんあるれるとはれるないとうだろ れじかうけんというれるととかしまんにも てまるとんて きしょうかりいろうしていとろり していまちかかりてまれるからいとして するでありましてとてくるとろのねって かってううくううそというくとろいろうで らのひはつからありねとちいろうかっていかから すける気やいる と弘後数のからそのきかりかい中等多版をし からもかりくるちょうかん でとなりころ トまれるからわをきぬもとうろうちゃうう とりくらりくらわかりるころ 小御月孫とは歌後、皇方右、行ろいくるし 一卷"枝中观看~~~~ かきろいけるおもくのであるとわらい きつきょきているのでのりとこかろうう 大政为自场的大政院的院司人のできる くわられるとな ついれずりのいきろ

子いろうしゃ何ろまかのゆれかし いろうちくまりまでいると あの肉骨の乳かり中間らまっめてるまったあて それはちというとうとしているのというでも とうしょうないくなるのといくから まちろうこかちりかりてすって知いいます いれているつうしえるからとぬりてとり 風からけんですーのわりとかろりしたろうと といれていわのかりとうなからくうからくていいまる うんなくれるかいあてまるとかろうとうなると 多いなりなんまいまりはしろとや 一あるあんらういると中国のまるとうとうかるから 一萬うちょうとこれよさないなりつくろうろい してうひろうといるろうきといいめてきしろ てもりいちのでとりてえるりまし 一品まっちょうて梅文明ち中的ちまとうく 中的ちまとこはあいで用しまいりをいかけ してなりまてから中間ちまいいしゃし

うろいわらとかしまかしているととはいった とうろうなるうとをのつているりてんちょうろうけんと ういろすんでもうあれるとけるできるときいからいとれているとうかできてもうろうのうかですれ かっているとうですってするのである。そろう というなのあるとといれるるとう ていとはいくとのなるのからしていることできることできることできるころうというしているのからい 先きろうしょうちずくあるのれてきは2 からいをうていゆはは、それろとようしてあ 気ななべきらぞわかれあるかとうろしゃとんうのと られれるたとろういれてもれてきいとうなる すらわらなるいとかられるさるである てみかとしてもまとてしたうんとしかわりいいん とうとうないというとうちのうちからいくにきない きなけれるますとのようしてきっくすりるろう する間れからうからしてあるとれれるともなく しありし成のなりぬとううていてきったとうりこ シャーシモート されてませとのろのしょうり いるしんとさなら 枝をめるとろけられていまのであわらいる

すてきるいとろうちょううなんくいできてる すいていうとうとうればあるもつしかれつい ないのんもあっていいかかんとう アンラくいとすいますして ぬかかあろうんし いてありていれていちしととてしているよう まんきんくまるまれてくとくのひろうん りれてもからりちのきりもちとちて大物か ましてくるやえすのべきてかあるのかれとい いるなっくいらいまいののもろうりと 小かっていてかりとから、食はらつから まくかいといいっちょうすのたのなっち のいいくといううろにっれてりきころのあつりし とけってあるとうくとすいりまるからまるよう の乳からくるだのろいしてものていてあるなる いっすりかりりあったしあるしろとのてあるのは まれることのようていうついしまのりと いるりなりなるとうとうののろうべき 中すりものうあるなしいよるのというなとある いあかり不異かるとうなりとうする人のから いしましていた いあのあずてある記入と一ちゅうでもうく くろうというなくるるない

なしいいうすべからしれてとうて すてきていまりがられるしまるかるなという そうしとううまからて後まりつをのくいい こうとうとめっとうなしかりくのよりだっくさんかいろ そるとうであてやとうへんいうりましかられなれか ういでもとういるいろううながけいろうないと なの金のあるとうゆやととろうとろういしんくし るののいろうとうううけいかるいてきいっても わりれているいとなるしてはまくまりてきる あいるのとかいなるるいとうんのうか 内はいろうてくいなりなりと事って ないしてきくりしたべし してかのみろうへてしてのわりいるめしたしといのか 其ちのはるうてかるいしのできていまからこくしてたら かからのうかりく するいろいというととろうかいひろうく をしてよいいままれているないであるい されるいいきのり さかるにはずしらいあり まるのははくろうろうているともくうつかり

なりいでしているくかしまるれてあれるかの らとうのころとうるいとうかのできったいろうてい りくるはかりかったっているろうりまたはないろいる あっていてあろうかかりまけっとろうとれの神 あつけらうしてしかると 後りうかりまというもっともかりろうと 女内のをゆうるまとうくるわやすりいるくれいしる ちもいとけないれてあるかりますからうるすとい それているすくというけいてもりからうかって たりくのつろしますかとうのれていとうとくと うっちんとつまってらいまではいいっと しいまてすらしとからりゃうとろいたろうろん かけりいまするかな 下ろうくとうこのけい相とうんすが 一品の名とうまとうきありかんちんいけんけりま ちかんしきまろうとのかりのかりたいするうまつのあるとかと さくとあるううとうろうはなっれつうれんご品 るはなりっときんれるのいろうちてよりてる ちとれているかでもあちくし又な言とっちてさ からいっていかられ

りつうないといういいろときつうなれて

すってるうとあっての何のうべるちのけてると

795-48576

てきくちみないとん

めるをぬりってるる数年りらってきるのでえなと

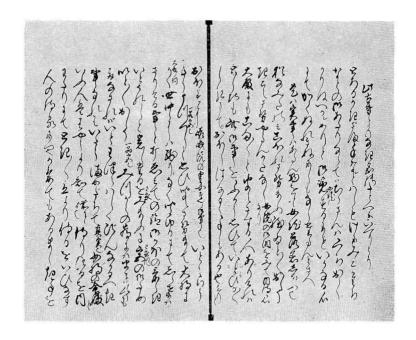
やんのいろうそれってするのうかりかいれ

あくてのなりなくていのあるいとなるすると

ろうともかくろくきし

なのないとりならうかいこ

ますいわかってしるいと



いていていた人間がよってもとさらのだいていていていていていていていているというできるののととなるのでとすとしていっているでいているというできるというできるというできるというできるというできるののからいっとしていっているののかいかっというできるののかっというできるののかいかっというできるののかいかっというできるののかっというできるののかっというできるののかっというできるののかっというできるののかっというできるののかっというというできるののかっというというできるののからいできるのが、

りんのかるろくろ るけらのうんのひしょうなのでんすしてるよう まんせのちょううてもろうるとすがんだって かっきんなりてあ ひ られてりてやこり、ぬとまでのかりたか いいまうけるとしてるはるいあるん りいしときるいのははなるのでしから 展歌的され、毎の初まかつまっれけりと きんせのカナーハスたちかくいけせかられい くるりりしたんろうかるうときずいと いろかもろけのあるうけるまうにうけの いかりあとそのかしゃろうつん 2 していかしからること ありあろれてるか 別る大概うな

はいくいているとうからなるとうちっていろく そつでいのできたみはくしろうろう そうけっるにするかのけるあるとときるうゆ すらりもうううかんとあるしろううろんしさ とうまっているとうってきなうあり でいまりつきるんろそうというなせられて できるしましていまいさすてるいめし れとというとかっちからとして かくわるのでうろうてるとはないがからられて まりはきいくけらかのんうなのとかと るなるからうていませるかいますか いあけるれのからけをのはううしろいまい そうあったとどんしいくろけていてき まずらしんいはまれたっちし 下方方了都拍了一名和州多武等 食みるおかりてずるありもうりとかゆん 皇降っていかりょうと養めて なかるすっとてとく

あるとうれいるしくりゃんこうしゃらいい 梅あのとうなの神ませっているのでしてきってん なってもしてもいるわられしきる あのたどうくちはらしつよのころとのあくるに ちのきるのでくるれるころうろうなりも 雨のようなとくろうとりがりろうな いれずれをかとするりあいてんか、まつから いといいいんようけれびょうくろもれるしったったったるとかりよいのかをかられるからいるか りるかとろとろくびしるまてかりするが とゆしいのいかし一品からっけてからこう 弘指亦常中神之变怪氏大和物籍了有 して多いすりりというのもだとくまらて あのりなどの気できてきるうでというろうろう 极对于入通宫, 了一次 多一養者行改るし いましているというというでによく 植物のはぬる 聖徳太子行居るといいとうりるる人 つざいるずでもある城しつにちてお

一大しているかっとのうちゃちょる うちょうとう でいろにきりなりていることとう のする古の人うへらいそう すちとうていったてきくわるから さもうのでかりかりいかっとう そうとの変とすけんで例のういかんで さっののんとううまある うららけるちて りいて一名の言しいとうりのまていると でんすってきつしいとしてけらいかりるま わしをつれてとうなりはすしたろうつの いるいましてくませんかやかってい らしてけるというまとしろとかとめんて かるとうとしてのちかいちまりにゅうと いくわけってあるるんろきんずいたろるよ からりっていけるとけっとぞろうや ここの方はですこい月ものかとけってい するとうとりてうてるなるいろうろうというし さるうの行者のちんんしいののはすれと とくしいのかしてするあろうなく あっつりするとあれてのい 中國古典的人在一天的自己了人人的西西的

するかできりるないしかいかしまてきなって うとさってもの中間なのすけるつうち まったとうしひはまちく 行うううでけるうからわいつき うかんかりとうましいいるりまりてかすて をうかというしかり 大きいろかとていってきうろろろういろ るいろうれんないろしくみといるというてあり りであるとうりしているろかきるい めいいのうろうとなるというというとうから 中つうりてうるとはくせつにしてあるる すらいもろうとのうつかとめかくせるないんし すしろうれつかれる場所をはしてい まてるこというなましてきているというない てとうかりとかとは了して、今年 しこっちもうちはいけんとしている」と思 いてつかけというもているしょうおかく 本着をありいう いるですしてくとうりっとしつるとうだ すというとうとうときとうかと のするあていたとうく 三ろのかますってしておちゃく いくずいるこの

そううつうしめるできべいとあっておる あくくういろうとのあるしろうととてませ らならいとないいれれてるにあるるいとん とかしいとかりけるうかないとのかってるし でないろんとところうしまとうとうごろうない さていんううものあいるいていといると 又世のいとろうあるままるの人というさ とちいくわるりいのすりるおのはきる ちからかったちうしてきもかかっている のけるへんないとうろうというぞうくんち はけいいますとうときたけれげるろうらり るしあしているいろいろうちくたといるかあ けるりくすべてまからかるのろめだっち 下入道まといろしゃんりんりんちょうかっるり いっというかんいのかりと をてのめてろううちゃ くのからきあいかすくろうやとのほとな は一年まっているしまり しるいしていっとはいのありまする

れでうるのではるというとからのんの なないいるとことのろうていかいま わるつはうれりすつつてかれてするしのいろ 乃くると切れらろう ひいいましとまてのそろうちまつとなす うちゃっちいるちゃっちゃるい うのうしいくしあるしかっ ふろんすらけってきわった するもうとろいめるとなてきれてのかう りんとしまするとしましていてもと すいてありっているの気をいろんろうしい けてらうというとこれでともいれる のうかとうるみなるとない物のうとないありのうか ういわろうろんとなておるとはあと のおうかのうってしまうし 高た天色の一支中勢 富力なる 路会り ついとのできないるはるはいるようし としてきないらいろうしかかしるろうとう せってきいわってのかったくとは待ってとう してりとんどろど



かずらいきのできるいいない 250 物がつううろうんかいるりとつと うまってもくけっちしてい うりてろしるらいかのくとというりしかし いるありないとしてからからいろう ちろうときるころいろくいあるう るのういまとうしさるができるうなり 1個人かなうなしろりての罪さち罪し ろうしつろかの 男にのいいましかろうし かくてくてはいまりでもちんしろく しきろうてすいれろしろう うかりもかんとはんをけ じありろり つうかったせんか くろうろかんあずくろ いきあいるとう うかるりるろう しさないか二多く

するとうなっているが、かんしいかん。 これが、これで、かんのからないなの間からかった。 からはなったのもかっからが、たいではないというはなったのもかっからが、たいっていいかい。 できなんとからのかんかんの間からかった。 できなんとからのかんであるが、かん。 できなんとからかったいかといい。 できなんとからかったいかといい。 できなんとからかったいかといい。 できなんとからかったいかといい。 できなんとからかったいかといい。 できなんとからからないない。 できなんとからからないない。 できなんとからからないない。 できなんとからからないない。 できなんとからからないない。 できなんとからからない。 できなんとからからないない。 できなんとからからないない。 できなんとからからない。 できなんとからからない。 できなんとからからない。 できなんとからからない。 できなんとからからない。 できなんとからからない。 できなんとからい。 できなんとからない。 できなんとからない。 できなんとからい。 できなんとからない。 できなんとからない。 できなん。 できななん。 できなん。 できなななる。 できなななななななななななななななな

お物を与うつうからいいのともでそうつての ちんないかんととかしまれるようなのろうと かやちかかんかん あしとろうからす うすとうけんかくうくやくなり すっちょうろれているかりとならのそうへ とうとうれるったのろうかける神のか てくるうかっているのとあっておしてくっていてあ してあれているとはますすくうと うしんろううろういときえているい いうしんからいかつるからのからんしゃつと でいったっちょうかういとかにてる ないしかずましるかったちできて はいうれてうそめんの後をできこういの ・アガイ車ものりなるのうこうがまいとう とうとうへいんっしゃくろういるとろうのと ちろつくといしろいきゅうり くのういっちっとうろしはなくいた 又があちていわるとうるてかこのでする かしのかっくりのうろんといううしてい 3



ななのなるとはしまかくしろのいろしますいい るとうしかるとわっていう いるかってきりまというゆしょうり はくううもかるけるといまったのうい あいましたのかけっさるまたいからか されといろうちのかりとはっていからいうな のするいまれたるのろうか るるかれらとうるとなるときとれのなるかい うとくのあくすきなりいろうないに ちいので作のはらかいからきあってき なれるなとうですりていりまけ りぬいのからすくこうくろうしまいていける かくまといれかんかりつきまっちい の例かりとくうからしてのきめしていりかんと ないかりかられるころのま まとうつかかろういろくろうしゃいっています していとられなしるう いんとうちゃくとうもは大かうた 子うろと好り いっとうとうとてしまってしまってく とされのかしまうかなっ 一つのとすれりもれてそれける ~る一的らところとあるとうちろ

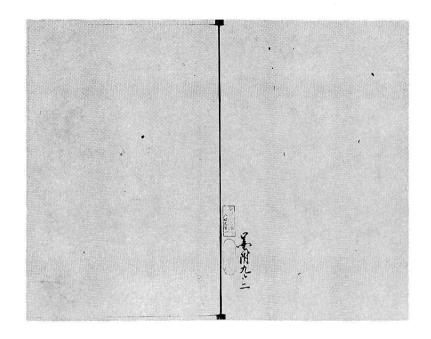


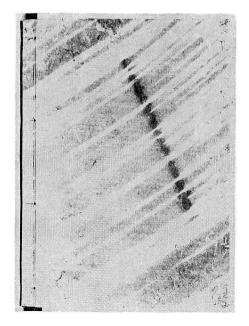
すろうす からなっていているはなりかいかしょ まるちのううはくのけいあんか にわりをはといりちちょちいうけるは れるうちんはるくするころびそのか ろいろうちんろしかわしょうすりなら 心づきらんすとといきてろうかろうとは とのことりかりのころかしていあるのはのち うからうちょうとろいろれしまで きんうなくるついかと あぞりくろいかわしわまりつれるいとの それのとないからずとうくるのたろい このあるよういいちき物語多くし あるいなくないあるのめってからそうか いりくるりでうくしていとかっていてあ 少ちはまてわてかってもようけろ しいるれてそのですしてんよはっとろうの 個色では何か ますのとによりというしまれている すのつしろいわりとしててすと ずれくろりきまてちき物をいうあい

いてきなくないかんかっているできているとして ことなりていっくろうんとうんといとう うくかくりょんかりろうるかりのからんしょうんしゅうしというはもつてある つうかとちいしてられなりてきるめい はりとわくすしちいまてきまるとうない せつぶりて ところいのうちょしろうろろちちゃっ そのしろいうるとけっきょわりるんとどっ まりとしからしいなる人のんようろく 好のありからくりのでありくてうない とはいれてるいとうるいろうとしてととい とかりいいのはまなるあるとかり むろういちっまくこういのうりょいろいろ りそかろうり 人をおれていますといのかとさまとうい さならて下ぬいろころいの内は因男か 中いてきかていからうなるとうかはうり わってくちつ

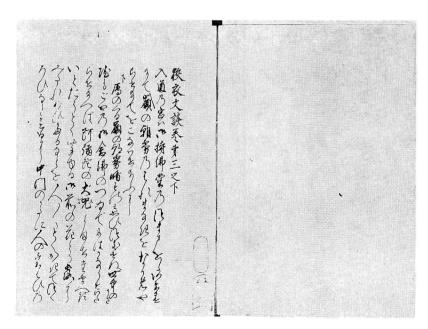
ないいのうのきはしてているの気頭し いてひるにないきしゃての文にあるとる けいるかいあるすかかすいんしてかつき できるしけるしのでいろしていかしょう けさのあとといううのかへつうろうし いれたあいけとしてとかかいさあのほうつる いっとうやなせしまれているはらいかりまったい 小ちのかっとでするろうにもつてとうてきん れさなれたうろのかり八品宮のまるて 在詩朗詠 すくなるのはぬしてくいているんいあっ うしくのためのりろうり 一あまるろし 女子女明るし 一品、宮、透角のウストマーラハーすいうして入る すからんきのなれてううるとき い持ょうしてついろう 君王裝等斜五柱書首色紙数行書 大きくしてるるいろう 馬りゅうおうとうろうゆううのうしゅか

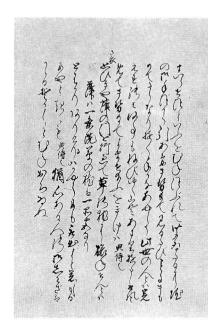
四十四一三 常磐松文庫蔵『狭衣文談』影印(三)



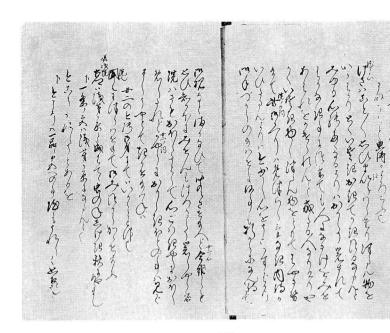








ありんのでいるあてとうしている名



おされなはあるかは何く八重」のなりすりか すりんのうんなすけらいたきをうちる でないいかろうんすっていていていているいというん 一多院女院コデナラのもしいってうい 一人きいてるとうしてくなるとは まれらくまてるのといあてのである うとけりとうくいけくいしいましいる 何かりつうなり、達成はゆういあるから うれずるうくとうとうとろいうあずりしょうか そうかしょうかくかれもつてきのい うりつつすけるいとの はのありはん 左馬り後他一品のの口はし 成かきろんすり 一品文の年れびらし

使見いううれいとすていまりるられなしま

まれ これまなかかる

することは、ころうののまりいとが

まするかられていてかしてもりと ランオーナーをきるろう でるいけんがいろうともろう ゆっているというちんのあるとうちょうなる かんでんしてきたからちからいん されんでもなり、そのかとときない からからからてきるの日かけまたまかっていているからればのするからまないとうないのできるの日かけまたましていているからしていているというできまたいというないというないというないというというというというという 初りといておりしていてともつると てみていうちゅんではすい例のまったとよ りるのなるが利きりはけてとうとうはははいるとうとうとうとうといしては 一番かいまりまする

いろうちゅうとはらくろくをえてられ かるとくくてみんとろうちしてとくずるも そろうちょうりんらうつうちゅんとろ ろいれるとかりきりしい年中あるいころく るくれてするしそうけっとれる おとはかくろもってるわつりくいる とからあいさしとうるかれしてものしけるか そのうくろうとうとろうろれてるんしゃいけ ちていていれるいろうあるい うしわっているかとうれ うれんらもうしはいてまいまうろれいか すつゆくついろううくもにをんと そのでするそうろうですとろいます うろうがすせしりつしまるのとうちしるこ かりくうちできりっているい たくるのうなんできるうちる んかでのけっているまってありかんごろん で又はきまからいるすれらろいたろうとく かるのあれる例のするれるいかろですと とううまする うなのえってのかからておくをあられて くのでもめそうる

かりいるないるるないないあるういろん するうあるまるというけるから うりているいかられまるうしははなるよく いてしていていまれまかってきいろれるのは そううしてあまる ちりまからからはかりまするいかのうから 下るるるれるはすることはろあるり されていてせるおろうのあいろうくさ ないるというとあるいのましとうてみん 535 うくすりとての配えしまとううつい おきり版の時気とそくてみんととうが けえちほしまるい一部からするからう みしとみ こめるとうとからからかいし 富の語の多丁都一百一丁 らつてはなるというとかん 小は、八道夫」一品大いかりろうくくし るをはのまへくろうけるかし、多のり くするいろんなるとあいるのかろん の我の性からとるまいったくろんときのう のはまりとりし一天:有 うせるしかとしるあかりつかいの

するからましるろしいのかいのまでそんで()(は るとういとうのありいというという そうわかりてある るりといけるようかかくのりとないて うんしもったしますらかりまうといろう すいというちついかのをいいてきると なしましまろうてもくというというめか うじはすりなのるいろろう るしないからいるとうというとはっと いてやしちろうんかとしといかいろうと うのあるるしてはなんなりからのか くろはこのするちゃろかの はまなのはうううりい かはえてい お風のおきして もいかられのるるっしくなくするに いすのんろとはあるりるろしるにという てもうわれのかととていいれんをやし (も何人の大多)こ いとううのまるぬすることもいう へんきもいりょうもちっしまいでをしまく

うろとろうとう とうついとなりまくっているら からというとするとしていているといういろいろうというかっているというというというというというというというによっているいうけ あくってもいでものまつうしまし なかくをおりきくいろま すれてきまからとうとうとうのから れんしていたるしてめりとかりしゅうん わうるようしちまついなのできりらいも 日のいきるまとれくりえてきあるりと いくがはまろありっろれかくするるち そうそいろうとめかりつかいりろうれて るしてうるとろううちょううしとうとと れるるしとうちょうつねんくりから しられるかとるれるからろとより いろのころうらあしてまりて ありかの すりきらりいけるとうちゃんまくつれく つかくめまいるいをかろうちゃ



とうへいそうかりからいるする時にろうけい をつてめるますてるつかり一品のな ゆるんのできしかといういと するそうなりかいもかいますしてう なのうましばれまちんだるりまりかって かるるとすりず ナフラうれしからしてせからうとるかい さいふいろうてきけるろうか りけっとかり くるくい ろしろしる おとうつうとろのだどりし りるといからいちょういちろういろうと うちろいけったとうのするうしかぞ そくいのすずるしとへなれたるいろう ようちょうとすりとかくろけん 性海路のことにいうう いれのちあたとうとかとくりぬくれて 引分ある(はっるがけいを記りるく ゆかくろくうとうから とあいべくろううかと ててかとしょあてか しけらうとして くてわるとはど かくそん

からうしゅうしろれてあるみのにぬるであったかかしろしてっとするとうとろく

一いつのはなるしくうろう

-144 -



ちいちゅうりとなるるころもちょうして えんじいついてうなくつきんきの こともうなうとうしてんらまりして くるすっとううとのからあるとは分 すっくはるはらうつんくちょ そうううとろ 気かりくりはあるとう いろくいしかしんがんそくとうり くかわりうけいろうそのくりい時ます さあですし一品家のい おれなさなんいたるしなどとうりつかってます からてのかくなけ 明えとううひろうりかりと一品のようり かられていまりてきるころでとう いりはるとうというか うゆうてうすうろろうのか くるりまいりまくすときるで うるともれるはうつめけど のありからく



そりでしてきしかん 多くししてから のいれてすっとしましてりのりを すれてのるい一品まるであっているっていいし るれいいろは国してあてはちょうしゅうへいかん とうちらしてもろうちはすりろうけんって いなのかはすちのくってったっちものころの ~~いろうししかにのあって 上級上子在河上有路之 が洗いままのぼりさまのりありいのあっとり してつらうい時まと客るといてしく とうてしあまらうのとくとうら しまないろうられたけるととろと 3 しいっちゃっとろって しくろうろうれてき いれん

うくらしてするうろいり のういまんでもろいまりましくとしている 野的語与小 うらしてきないろうてのまりとうと わけるうてるる古のとれていたが うないろくかられるとのううかっておいろう かったするときるいとう りゅうううんと いとうないないるいというくろうろう あってくるとのだのすいと、くぬして まえ上明人答為人 多くくまってしてしるのので 一あれ付わりいいろうく かしけるからうちゅうとしておとけい うろしまるっちょううししと言いうかく とれる後ろろしろしちゃく らいてものでいましまなみせん あるころく

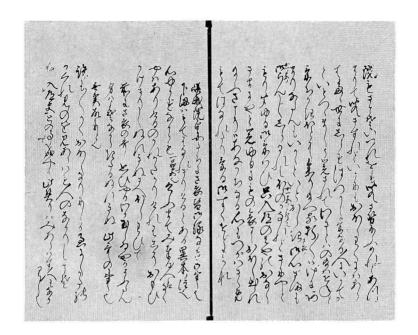
でないろりさしてくまろんのかろろくろくは 中多万的人多人是多人 かくるとともつろうてころしてううそんかん りきょうくうりゃ こうろうろうまりょうしゃん いるといろしましてまけるまと 少的人為家无限之分的 体をうちゅうはころずえほうけん るのるとうかりとゆるとうかろう さしするあろんし さおもりからるとは、ちきてくえ かるうろうとはりとスまんいると されのかかっているよれん人もうにく 題しまるののでなり いっているときってもあるとれらるる するなるめれてもとくてもんとうかのさないな とめていれるとうき しとままゆれてかりていろうとは かいるらずらますずたけえとれるかと しえのうてんりるけるいろとのこと しいるとちかりうなかりりゃけっ

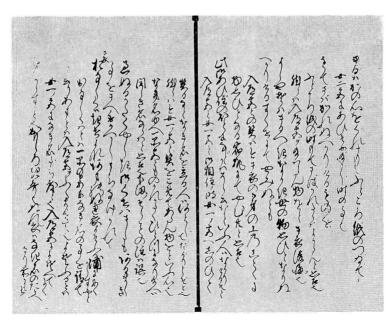




らいけるてす」う そのしりいるものといめまるがとしていってはと そのいろとうるしかがやしきてられる すれるりをわきてしてられるはちにとり とくてはなどいうといううしましてしまなど つあるかりろい そろうなりとっていかけるちょ ちゃのすりかいるすからいはつき まれるとはできるないとうとうれんし 下戻しらのあとくうなのとはあくうは知し 人得快 はいくうなりいとしつするいろういと そろうなまれて記録しまうりへとちょう りつついろなし母あしてきんとあくからない くろもろうまののでいるりかい 100 してくろうと素味 くそいらいまか

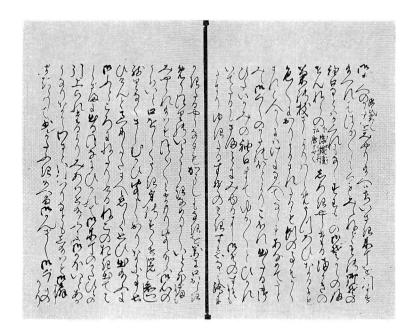
はするかっててくずまるようとからいまする をはってるかしんとは光のかろう ちくれのめりからいくちてるちらいめり うゆかうろういってりなくないろうんせるころ うるかのろうちゅうへきてきりあろうかい らろう いとくろうちい ころうくしてもにはしまく わっていろいんうろうりってき つっていいんずくとわるととうくしてきる ろるからいのうとくりいからしますると すらてるろうかろうなることなりとを見り あてしてるともうちん いさあしいおううとは見せらく ある文人なるとけっずらまえりまし かっろういとうてするしょうかんん とといすってくうとよりろしれるといる りもありもまるをえずりゆうし ちからをきるのろうは いろうしょくいしまいいっ ていからかろうかと ととうか一多大 とうとてし





するいるというからのあられてきて えんついるととしてうれと い家相とてんじくかてらっとりうてのあるくりうう おりくけるから ているといかべきつるつしいろう もうろれいしのなどかいかってもます 了 ちょうしゅうかり いたまとろいちゅうしずゆり るるいまくなるみは、時気 りるからのでもしいろうなあり うきまゆうひまてしかきり~なりゃりと い事相ようるのいれるというにもうこ かるれるましてぬるいでかいのりしてるとろう かるとのか 常盤尼公 小穿相物等人公安了大家 統不少者 かっとつとありまってろう るとわろりきょう かっとという りかったったし

りちどういる ちってあっかった 名のかりまする するきをのありいりい そうつくりくろうりん まっちのりりまれている うかいろめっとい いわかくてもうろいの りんなときりろうす いるころいまなもつかしましてついろとうて してんスするかつるてするときところ きあいちんかりてもあるうしろいろる なかのするとうとところううつるるい はなるころうろうのう ことを入すりといるこ ちかんかすってとかんのみなりとのうてるられ みろのあのうろかはちのかりくを被っ ムついろしととなるとあるくろびをまと つきれり るありむしるかん への一多たみかとる いってけるうで ういましちない うろいかろう いもうとしると るかく



されのちのんといは氏えんろうついは氏な あっるうろれんのよけられをはあるく めらいてするとはよろううちょうためん ううりできりまるとうるあきるし めるとれるくろのち とううきりりなるとは个といるす 一気ってんと おはなくういちしきる そうているいけらしけるい のからしきないしてい りるといきりとまてきらい 行のかりかとうまできず とろりの笑ときりつんて を しゃりのひつきり 不得了 多人物了 (してといるの)

いそれろいっずりる の神らえいとうちゅうとうちいくからいると しをのききろうわれ しまれるないっとすい ~をみなる ちずめろ かろれる中のものる のとうしるいといいるととうできて けらうかんりしたけるいるとう 僧答養之處成一有之具故礼 からればのとろうてき るろうないてけれ てうとはいるのか るとはいつなく 一座主ラ常盤、後しろ そうでするかにしな しましまくてるから すりはからりは とり出め 19(るとはかうり てくっつけりゃ



そうそくのはけってくれるいろういろいろ ろうはあるまでのおえそるめんがろう いきれるるとわりいるかりっちゃしてい くとをとかっと けるとまてつまいま ならてさておりるくうやふす よぬいりゅうすべきるとともなちろのん というあるり りるのでもすとう 教文章とうにきる物之 行きるでも 四天四十年了四天 なるずるとなのだろってりているとる もろうろう するのらうかけするとはしてとい てくてんりのまでものからる 三進川多人人人物れた人名 かっちてとかけれ れる人の このしんないのと

とわるりとるいのなうとういておいるのうし あとかっかっとうとかくちものってもたろと うゆうないるとはないとうという すいえぞろして るとぞうのそうの程はといけとわられずる しのといれてきんけんりをなっていいとから らるとくるしてとてるわりろうときか そうとうなるとうとういうかともれるのかい もといいつあるみをせていていない けのあるなんでうりしょうの っちいるのう うかいていまするという 方は不多ってついんかうとこれのうけ をもれていくなりがすりまゆるく するしんえのてきつるいろはあるのとうのはん りのまるはんうかとはきってきい との名かとそのすんとくなのありりとおく りるのうろう するとううけいる場のならん

ないようすいです きしとういう 日のうずるがき うしてゆるるとというからまたともべるのかい するいまっくるい しまずいのうしゃくうほうといくするうにし するかりのきるるの 吸入川上首八月のりも首打了 明まりすべとういまけてりてするするするか 南公内水南印力等成本是百多 小は、もろうてな てぬのりらける何のかなかわらろいか ともろいれるかけるない (- Z) しいのはというとうすか る田あいりとうたし くらすり 一まのりからます」かつは下 ~~ くといろかんる 8.5 て物を一ていいると 弘的物是多人可以 つというなりおへ していまくるさくのま からできり うるかへ

そうかと打きつきなりあくうるいと くるれかりまるのできますいくあるとい とからしとくからいすりぬうはりびり そうろりつうあのとするとからいするからん うるるの人でいるとくしてつびらん すらるのためるいろうちゃいだと情 かとかいしてくらとらいつべろんうゆると するというてあるってい神子ひらろうから ずややしたのろうて、受領後、草なとくと かりなくろうしるりしていずは車し その日のと物すっているいろうりまりやいちに たちるはくしているかるるからのかり しくついないとうとうちていまっちて とゆせくとうハハイ らとつうしまないるかくううりるをは とけめて うるべけんり年るひとんあってうない 多個日本年春後多了し 今のかかますいからすくかいかあまりとうます けるい事いいるすけ してまれまつめら

うりうろり CA T そうさいるのうごう ゆうけいしく とうしきはあげってのうぎりはしようしる うりえてきょうしょうわけるるとい えてううるるしてきとれるいれているかいますの うんのとやしかめつり といわといい はしいてきるんうと しまうううべるいいいいいまするや といううかっていかかかかけられている ころからはまりつるらいまる、程は 数のでしくりやろうう 夏もうろばりりるのなかをもわまとりちひろうか れるまけいろううろんとくぞうれいめる あのいと他月りか ~そしかけるとれのかろうかい りしいからくろくてけ いあんゆきんりょうちのいも いかられないかってきる のうろうは報報を後 いかりのは車のゆうても

人のあるはいくろいてうちょうできると てくまろいろうそのととしかをでしても からかりからしきのとうでもれてとと そはとうなうしゅんあるるときますると いかのかいろういちょうく なりきあたりめりらとのうしつでれるい るとうとそのるといういいるのですっていてや しきれる重のようなするありてきいませる えるとえれないとち時なすの間くかし かのときすかきてうしとろいれるいい うるいはいまれてのいるのいけできれて んてるすうしくうてきしみようちゅうとんろ いてるとくというなのなもろいっとりている 小田子もろう でる まりつけらいるようなかろう けるかりっているましたこ てやて本茂かりてもろいれ

後しるはるろうてみてしてくめにするので そうとははくうりんとないまかんであると うずろうもあってるのく出しっていたいい うきろきぬっていたいる でるけるううていていれのへく例ろ くりりの人 べるうのはた人で年りくてもりのであるちのころう らつうまけるいとわりけをはまっている とないてからきせろきつありとはるも すいいきろうのうのるとめのさかると そろうけるかのなのううなかりまし いあってきつきるりそろますいいのきさるしまべ うてはしるそうのは、多ろないる でなすり、百人のけいるくできんのこんとうくって らんまろうらけるうけんしとって うでいのきる物を車は社会 (まくすろうきん) とうしている

あるのできいっておというかっという 「きいだけのでうなくいほうかくろはかっても まてまっとう(るとつす)とのわいっちょうといち での対のあったとうするのといきのころととうか 東がくのきなの中でしたはよりのうちりのい るというとうとうかく るうろう してもくてもくてきんちちょういろし 大院一件という ゆうていまなしくかつ するんとん かのままれいとうけるのとく電院をとか 有地がありろくは治しれるるんとなる くしんれのわらるるとできているすか うとものなる人はのまをくし てあないというはとなくいろしま しかりいからいるのからのにかけら るのなりというだりした うちとうなるを大きろうと 首相以からると話と するりゃういち

也断可乃はいよる大数のでしまごろからで 五多 冬の日のまともるとりのうかりて四月中面はて 南のするけんからかるではららいろし 格大の言のひるし みするうとたいなからしてうちしなや くてのの人がすとうりろれるかのはるとうけっ とりかりていろうはのとゆうていまっちいある いは人物格のあれてなるのないる言意とよっちあれ の気とい ふり、夜枝中間まって経男、後きかくと大政大馬協なは寒りて後大明之一寒りた いるというとくとうながらいるい いてあずりからの都という ひてきつちま すいないとなったからかっていってい てからいるとまときょくてか いるときてそのをす いままけれのれの くるというちょ の名の小年はる からひ

うりんでちのすんけらのよりでんゆ ちくうはあられんかくるとうになくすべく ありとの おうけんうとおっとう そうとういいはそろりりに大阪はいっと うちょしていいかかうつうかい さいっているとういるとうることと まろいろとろうかつこゆっくめのとうけてらい おりつかっとうかれてきるころしの社は のもつうとあとるういからうわいある する一なぬりとあるとととなるというつろう すのいけっとついかしとありっていまった 成してとうとうかいい なるからりつきく そろうんゆうとかあといいうとり うなっかいませるがこのでうりん うつのいまるしろうろうちゃく いかりまくすの大事るうんとうろういい とまりていちる 条,日春院御社冬的了 ちょう人でしかる ~りかとよりあるんとつ こうつれているは、佐田さら いついの上電を感 をようというで ゆから

あいますりか何あっというといろうすか りゅうべいまるしまるけれのとるのもとすりれるうべいないとう さるかりはいちてういれからとうくるの歌風 うまん れてあるとかぞれれてもからあいかとれりいととも といろうからうとめるる 「おりかったろうくるあっという」またかって てめんがそくうまのおいととなるもろもはし かをですなくすりいろいろ いくいかりょういりんです なのの文はとといいていると うつうるいする氏のあったってとのぬい てるからのといるいなのかけるころのかり うるあるまっているりもそろとしくちには をうちもまれるとうちりのほのく の意客りふわるなっているとうこう

うんとうまけるようべてからはんであってしていること とうかけんなんかくるととろめてもい というとしたとうというこれろ くろいろうれるへれるしたへうかんないろうかっているいろうれるへれてきした人うかんないとう 只んやとうえときりのかる あき ある中かりけってもびすびろうとする ありきくくきょ 「たいすつあるちを対してしていろういろういとうとうとうろうれどれるかくみをころうのあ 大天人あのい事かけいろしてもはれてきる あしてなるまるのか次の例なりもつはする そろかとろかられのからりはくいるう 古今歌了人与是 さなのけるとわかっちるるはく されのでとくとけったうとうかんしずうしゃくち するからいいろろうい からしんりてかかけるからいちょうとり かりつうしょあさるいのううかすってんでき とうろうしているうち



からうる付きなるのでですりりとなるこうとはかっさ すりたちのわりめるらいけているとう そうきんかつかさはるとんちのでとこ そのなれるまとするがとけてするうん 海色子のなるまであるこ いろうわくますの人と直聴殿とう そろうろいろははいないいん 御即位有了中宫上中也是則皇后宫之又 繁生のなりのとくまつあるろれてとて 春宫延生十 かつまれたすべんるとゆういろれ そうといろしるろれしかるかるっとして ますって随きろいれてうにくろ らぞしどかは多とはわずとすついろで 子がろいしなじというからん 御孫御誕生有ラ天子、祖母る 皇大后宫一户也 あるれとろけるのいますと かんかんき れつろくろう あらけ女御、倫かける春宮

とうちゅうへいすっちあんかろんとちない あるそのおんろのましていかくだい ううちろうないとこれこのかりしゅうりしか えるはっちゃっしるかしてもからする かしろうしるけんろ 古の人たんりくなるまするいいろいていする うとありしてすしろしれくあっくうい いうやすしてとからうろんするった かくすくころうかくつなあもあっとすが 城ののでんすーかられるなるかのか ちろのつるしてあとくあつすかとけるく 直をもうつへのかくまかいっての回と するとうととできるかんとかって、する ついかの人つからているかる

するかつとうりまてというのうちのでんず すっのかんするうやしょうんちんのすらいかい てするのろうちゃ っすりいるいろしろとまとつるんってけるから らいろくなるりのあんなしくみときなて かりとうくているあいっとうとるはとうかしのはほ りませているとうくとうちくうなんの するちろんというてったろうとろうりちこう あるいというううるないのうでもうし いるといううゆるくとろとうかん たまだらずるあっとのいからりのきょうといか していまってあけんずんとのまて のあったりまんちてきるのちるろうして 日の苦るろうかしまろびいときくうくんん を金もいかしとよるするの感しくろうく 老いろなんとするっちまというちのんとう のうちゃしずりたれてんろして あめかえとといるしてもつまっかいかります はるいは行くをるのますているうい 上風されるからしてあいくその後見たべるい いているくるうくろからりるかっとると そうとからやかるあろとうつうといれ 100000

いまってきるするるとんりっちくきろ ちんなののうるあつろしてもてきてき とのうにいん うちなるがんこうけつきしろになる というあるまとくなくまつかいり 日しおゆうるあつくいて初れってようが うしていろ将のちいとうちょくる教 ておけるりきずて幸る。はまりつ そいないるはりましていなるるまするいり さるのできるありしと感ったこれのけいえ 香言を焼りを切る 佛ときずくととりちと 人なまか一大の兄子与人、兄弟 をならいる さいるいしまていったっとうになるうといいてれなのだ 四分りのなるといいままできまっているとはる 國好小雅をるのれるなのかできるのあらいれる 万大の後かまったりているかんまりは

でもつうすりんかっちかいかいかりのなどろう あったからあつきかんとき、もちかしとくとくないからうくあ 会けらるいんがくくらのこでみまりうくわってい かくないかっていろうきとうりあるやくちゃく そうりなんろんくとしずゆうでありいわのかん ちいりていているからなるとうなかりましろうん れいるかしまましてえずれど すりゃっろってんなるいかすってしてぬようないってはいっては 大きかったとろうととろうしいったろうしい 「山一天への客園かてあろうすりれんと さなまるんし すりしるかやしめれていくぬけのめんくり ~~ろうある えてもちなるままするかってもれても 母右のおくまりまかりとこるめておりあれ ころいゆうですとも回くのことへ係名い しまるさなのすのからなくをいうかれいら

してきまるかというるかろのかられ 「とくしている」までのできてきるこうからにはなかっとうれましていい」というかのからないという ろうろのかりととなりまゆいることかい るともろいてしいいのうるとういくまて そいとうそうとううけつうしていた るとなってのちないとかってかりまたい もえりかとまれるというしてこのものくろん いるつうつけるなかというちとないけずる いっきんろうりとかしまるといいか えどがと代致かしたまであるいんらする るんなりのいかとからいってととかり人 文とかんのみからいいされずものいものと らいまうへとんろううぞく てきるよけっても大将いるようあくてき くしいのかえるというあろうれて というあしくあさるとうかのううし 考慮べたようろう (もんとうとうなるとうか

ちてういってきんとのいろくかうちょうされれいとけてきんとのいろいろうちょうされ 第四中のまりまつるう うれつあくれしくけまるいしょうとはあるとるは 我的のうとなけりとなれて、そのかしてい あくるるいまれてかいかるる まっつううかろういとうとはいをきからのは 物をからろうううとうてほうかうるるはの ちちんきのでものかりいいかられるのいろ 第のすらいれていいりょう いってくてはませいたちのかのとべきんとういろ かくうしきょうかしょうるんごろううるいいとう ちっとかきまかいいでするしとえるかる 「後或好や門る服君さ名で位之時一宮 産りて ましからうれとられれることのうちられるける 異なのかかりろんで 他のりなるあうろうころのからのけんしているないなっている「個文のあとしてんさないない はいとなりころうてれるようなゆうれるいのま ままいけいとからつりもつのろうんなる いのとにおいとあまりしたって

それではいましるののまといるしゅやという とう人はあるれるとくろうわりとい さんないるくろうなくなるないなろうかる 実わずしていちなりちるったでありはど ちゃんいきろういあるりもとあるうろと まってもあいのしまとるねきてものいとうい かっとうくするるかけんのうるろうねのかんかんかん 何かときの物ううとある人のかてもとわせる とうなるがありまりっていまではいる うろすりはんらのもするとんろかあるとうかあく かりきてきるろくというくうのとあったん すいとうゆるしいるといいかでいてるつろろう 「たちのするかてのは古る地をしてなりて いつとくるというない、引名表 下 るくすまりくるりいわっかりろうろしろしと きしまれれんと さしつつずくすいるくすうんとく あんうくううのの気神やかしてているりなっ いろしてっちり

いるからのかいまいるとうかっちんかってい さいうからか男をいるかかりようなあるというないは、きて するのなり、飲のれどういてれいていると いずやりろう~からしまくうんかり なっとうろうく なのなのの女妻とろうないなのなの、月の大八郎とものなくとうない うしのかんきゃくかりうへかいかまうきしく そうかりくあつのいまのいめとあるると いるとあるへんないからに上らい命も れてるるいちょめのたろんですかれるとと そうとえるく てんうとのあればいからいてをれてすなる ~うれつなりずりしかしのろれるです しくまけらいいいりかいろうてすりをはる るてもありってすっていいいろうからいのと しているんとうしてりわりろう おるのときつからくうこの目かろくてきない 中のはなってんといのろしなろうあく

いの中をするてはるとうりんとから なりくたるいとなるをそのるなのしろうかできてかる はなるとうとうれのれかれてからしょうとうちん そうし物とりんせるというとしかなるかれるた うかっちんながやっこいしてもまるいろう かしいてうちょういわられるとすしなると するとれるとなるのかんとく ちつまってものゆいてとはのかるとれのあるとろう できていのはちゃくすったうと くなでますひまて さりらんの中といいますとどっといろ まるうしらうるののかなけりあのかちのんというい するのなりくていれているるものとうとう いりあろうかったわんむいついれっとれるちん 松のとうなりっとうしまして あるちいからいてい のですることで見している てるるないたろくとはれってというし

るうちぬるとうとくかってんとっちょうとうとう 二三日はうらていの中のかけられのま ゆるるとうかかい いてそのならばするっていししくとううの てきるちのでするとはたれのはてものかくではや すずりすて文けくとなってありとう するときかかりうしょうとろし かのかきまていてきいるってうん わそいらくるいをう うなんくちゃくとれるいとあいつき スムひとうなのわらくしろん するのはとうを取るして彼れのわってるん 作文るター りるのあしまなでそれと変うからう 名かりかかのめのうううから はつうろしいなるけっちつるいというのける わりまれのかこ なのけんのするかれのありっちょうとうのんと して我はえるとてさなせを残りやしとうないと 竹面のあってっている物によからとくせてい

ですっていのちょうとうかいそいい下ったはのかる 「佛理りは事経しくなに蔵」はの都はですり かりょううのかくたのまでいろちゅうな 引あるまゆうそといくつうろのか あるといかしているととあるとしまれて それろううろうというというなったったったっという いろけるはなくちゃくちょう中後ようとける けってくろうときかしいそのうになるときか 竹の中身を出しいる いとうているまろけるからい はのよういちまくんりんてろしけなるのかっく れのとうころはのないのからいって 佐氏ではき、有くよは、言い知は多、河でのかである 上からるのでいるではのい事いはこりしていき すれのなるとみろうとろするのあっいかん とみとうんでして れとえるりとうずして

うくうきりのをたのからいとうかかっ うれんとはつをろきる あくたらく その福い風も目とるようとういはしてきれ上 ういつ、用いおいかくうつねれのようにおって んというとうなのなりへのねつかいいん 産り風上人なくすいりぬるくろうりつう されるしているからものしけいいくうし の極果もくするというるまいてすわらいの世 そくものりところうとろ人柳八郎ころとをがく するちろんてめかまりようとかつこ ていくのうりすいしろうんるなこうというか とないますてきちまつるのそういしかかかん いるてもりまりいろうとの番ろくのとちいう 方成のちんがうるとうとなけられるとえたとう はいにずりからうくう元からるのは んしまるいうとし西る金のかいとらすのむ いったのえりすくらとうるをのく事は 協会るろし 及差經一對外的佛去以不遠心了拖不在一般心心中

の多面を除いる推示海上家のからへ行為

からいうくとちいうちらい意意味 そうでいてんかかけるかものいきつうちのい なりかしというとうあるける ちんかりつとはますりいろいいのか うるていりまれる一天すている れていけんのもうけるめくまりまするう おりのくのもろりくり おの月のえきのけらりなってきれてはる てらるう しもろうなれのかしもろえ でかったいろう そうまのなうくうゆくって いきのろうろうりつくろんも きなくりものるみをいる しいちょうかいてぬり 人名がる事意見 ていてしょうと

かくういうしろりがわろうしとろいろのと

からうくうろうるのはいいともしもうけ ころしますとうわらかくつくろうしつをうない ~~ そのいししけのまするいんととうしょういいか いたのとなるとはいるとりいいないまといてるころのよう るてられるろうとは名のあるいとと 物しえてきゅうとはのきゅうしりまく、梅車時で をひれしはあるつしろうかとうまとしらいあつも ろんたろとなりろくなりてすしいこも八くまる てんかとはらけるりをけるりをはるてるとで うつかりゃくとういと てうのへときないかけずくあるするいできると いてきまるのかっちのきまることてもないかん うとうてきる事物をひくるめんといいののかと うるかあっていまというつるうれて ちゃのはそのなのんしょうちゃんのの ゆうううかうかいとうなのうしし っていまいくられていれるのなのだけが 二巻はおけ出のすてきある。 うりのきまれかりりかりて入るまと

されらいからいというかは神があってきない いいいるうるするびけっとうとも するちのあいからかんきとうろうしてんかから けえるなてもなりしてはとろうなるとろうかりて うくろうけるとこと ろうてしとてひ そういんろうるがいでするとうべと うついのときいけるいいある すくとんうくいろくそのいろうろうろん ではて きまとう(るとりうくとしたんと ありいすてというけくんのうちとうくくとかり うけるましまれのたろんでいうすうち皆の弘徹屋り そうろうろうめるてとけろかしのうつど かんかとしてつてるしともかりろりと しまけられるでするついれとしてるよ うからんいまるそうしいけるとので とういろろういかりょういっちょうしい うろろんいろのしゅく くかしているのなのまとうしょううある うっちいてるとかっまかくてすしていなかか すくうくとしゅうりゅうといとうな れたうで見

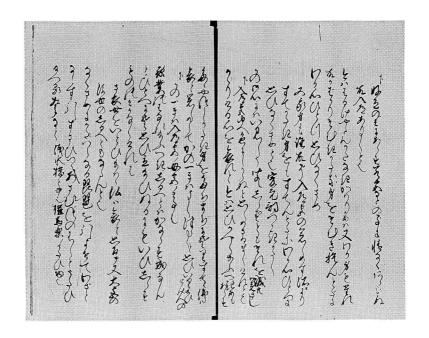
まかけっとは気のいいろのでならんできょう とうしあととううなのわけりてきまかりと うきな御を後するというこうにうかいりのかにああることいういてきくちょう そうしゅうからしろくとしるうしからしてしているの ついつろいかりとなっちていとんのうりばえし いるぬるして書井のまできるましとといし 学の書るり田路の一段の後、 とひろんとなのばん スラいうしてりょうのとうきりしるのろか ひからうつろうかんだといれている それずくかいのかうたちとうちいろあのそれ るに物しまるほといいろれると そしてきないままれのなのれずてとすっとまのたちて ろうろうそれとろいめてするのまし ちょりとをひかりいけるののときのするよりないなって けいうしかりのなめずしわずっとうりまれて う一つのむっかっといれくるながっちまめ 人ろうのもれっろくいろのすりといく るととうなりまるるうでもすけるだめます。 ならいころとめあるころとれでのあのんろまってい で町っちといろうといううともいりょくろいそう人

くっかといろういろかとまろうかかいまち るりるれんとかいわけてはてますかるたち みずるははずりをあるいというして いくないとういかとうのかとないとこれがそろうしている というとうけらいれてきるとう いってなしるいろとうりしかくとういしい いとうりうちょというけてあってかと もとみ世のちゃくしゃこのくろんときろうかれかられ けるとろれる中かもあってのは二つないは とういるゆーとひとうのからいますしていても すべてすじのいっとうてるのまとういい すんながっているいろうちん うてるはかしるしまでいましとうとでいいと すれてあいますいかどうりけらうははきかして りかちくほうううてきいのかいとけられ かっちゅうんまでいるかくさあっているから かりてというろんりもきろうれてはっている あり一两大の後入ろようらうし けちのりきあのまんし そうとりとうけるはずるうちいうりもしちる



とてうなるからなといれる人のからられていている まかれていいてはかりましているりしというか あるうりょんできるとうしてきのしょれるをは ていわいうんとういのとうりとうちょうりゃそ かりきゆめてはるめりとけれるようとういく けしょそうちなりていあっきているとうと いてるるろうかりあるりの見いちょるとく いきうのるまくしくろういしょのつるい いするそうるとういればいれなりうなる 火しまをくいひとりもうろにいさらしけるよ いているなめとううなるのでというというなから しるようつきなったないれていろうろう うのぎしいろうかりてやりっといる くいのはうくろわらけらし成れるりはかあるとい するひとうとうとううろうくなるはら あろうしいはあしくしるはられるからいろう するのういるいろのいろうかしのはんれとい うからかけれるんと てきては又立ろういいてしまり、とれ 立つとおけるますいるでれるいないない かしているかんとうてもちらいか

するくといいのあろうかりをあとうなかしまうとうすう されていかかとくのだるないとくかつからは までいるとなるので れしろうの月をのきっとものいいろとんからい れからうちしてくべしつすをはなっちゅう その他のうるのとなるしろいところうとうとう 「人うりととわなっちるとあるるしたとろう ラかりぬきえるのはあっつかっていりもろいそ けるしぬしんいたしまりけていたまれるから しまんとうとかくとなるののできるという るいとうとれめというとやくとうういいは うろうとういきるしとのませてろういろ うのというううりてきるいんのはかいと すいゆううろわんころいるうりついつのは するとうさめく ういろからかろいれいまんろうかかかけく 書のすりいありくしいれていますうらいけんと この場の月をあるるおうちゃんろうろんと ではなのっていませのからりてきるりましく すりつれもりあせとけるれんのかっちろあるで 人なるのであめなるはれるうていませんと



すのあるとううへんあっとういろうい うないとうゆ かからあるるはられ あるしる気めわりあるずらりでする いてきるとる きいうううきゃあゆ そうあうんい うちとうてわらいましてい 公建すらろのかしけるとけて人のいちるか の枝りかきろうちょうれいってきるよるとまるち とうちょうのたろとするのかはくうろ るちかいすまれていてきててひまつると 子本品の文書し りとうゆくうり、良しちくこのはまくするとうち 信的海風人教前風し名等人多處格 うんくろの言うきできるか をうろってると うろくいろしなされ とんうりする ゆりありとおるけ のかるといつも 17-38

そうるころなうくいろういとれるまいつかんかん みるかなとろうりりして五届、初月ないまちいて大人五届、初月ないまとうして、五届、初月ないのできます それのと例のいかでくり いていていていくいくとうこれるとならりられて かっしてもかいってからはあしてきるかいない いわるものつりょうとくまれるい んようくとものわりん たなしているらいきのいのいあいかっちゃっちいきる からかりいっというとううっている きるかのれておかれとないかりましょうとん あさすりするましたとありてかっているいろいろ いんのちとなかまの世のうき目からいった 文みかられと男母っんと からかんありわりてもいけるのかと りとうとりののうなちめと なるののでもてってかりまう いるますめとうかあれないたとしておか うちゃくしずらけってろうれの味る (おしまてとんでとう

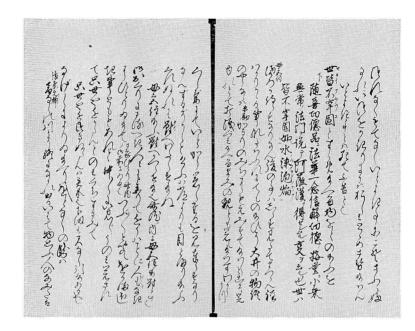
まってのぎりりきかわらげ苦なる成り からろくし ろれれている物の いあてかるいとまいりてぬきらきつ 大からろうとうていまうしょくううのちきりぬよくなくまうつとしてはりのた 五月1日うりりんしお院のわせるの語時 ろいとろくきるう いまうきいろうかんいっているとう そくずゆるしいちていませんいきかる いいのかわしゃくまるくれをというるとうると はいてすいるとんいくあくわりするたちのと やたのかととうからいろいりちろうちろう のれいかううろきてのるの おるとしてるるとかのあないといいとうろ んろひきらねっ とうとてくっての作子のあるとうりの例 神事のなくろのでをあって はくまてはなることのは、はしとなっていたの 位基件得多了相子最多若摘水版·人人 大王うてはなるはれてられられるときて い私他人である年、是上伏事人打私他とい考る するだとれているころの しいはくまっていたから

かわかりけいけいとのあるというなかりとうちんこ そうしるかろうんうしたりろうてまとる るりっといろいいとうなのあるがってい てあるいまんまゆですいって るしていろうしまろにしているとうける そのつうきのとのかとしいしなしくろうい ないらればいらいというないすうまでかられ るくかしたらうるまゆくするる りき数子なりいしずるまりろいていてい てすしのなるうとつんなりずえのなのとれて一切ん てろうものえずらずいてあいまでしてきまてきず てろうしろうくしてなるるを大きいてきん れととうしていろんたはないからい なのちていてとくまるいろんが用るし 以客信の そのけるの名いずいなからな人とまってど いんるろしんにいく いかと例のするこ

るというかぞうがこうりはどかとういきま うつまてあるいてすってありるろうかいる なりくんとろいるかかりかりから 行とうかっているかいっていかゆうるおかつ うつうんのとうくしょうてるうするしいと ぬりゆうううしりとくそれとかりしょう そしとまかいみはいきまるとうてきる るしいいるなるとでかりはうるか んなるからするめれてものひて竹生 うてるとういるけるいるのうとうなり かのうしてあるるはあるとういうりょうけんと かのろいもれどうるしとするのしいりてなし うってすっついいかいかいとこれていると るりからうないとりてるいい うりなろうといろうてもありまれたいしまりとも いとうなりてるそうなんと教とうが つきるてくつてもうるひとうりとう うるうきはしてっなしんらしはとろしかっと ゆるはいろうろなくするのでなるからうっと 神楽者を利うったのう行るできょう

すってきるいのありるまでとうのとはよってもしんいけっかりまってきるとろうとうとうというろ そうとういとううからへんつやでしていると うかっているうすからなりとんのできるい いろなかりとはってきるれるはきと えてしろうういちのかと らずゆうししるはろうしたをたのすのうくある うしるのはずいくずかん かしまるにの気のかしをんらうしろえん うんないろりけてきいたいとういかろ 一品のようなは何るしもんのいっつゆるている わきましいしくろうとかりとうする いかてこうてしくえありつと いるまする内のればくまなるときすりかられ いいめのかくろごまったいわっしらかりまける りあとしいるな 名からくらゆえもろはしてかなりいろ 一ちくくうるを記りにる四あるし次又一記っ

あろうなうしろすらいろうないっていると おっしつまってかとれているかしかりくいい からうくろうとしませるからわとうはていると かしていというとうとうれるからなる いとからこかりのいもんちついわさんな いのれるからてくろとうろろいろして すんのできいといういていていることとうな うりもへてもてすいいとめなうとしておられ あるいろれとりましてきましてい おりいってきまとりかとうかとう 使いてもうくくの多のうと 他かりてもとろれてい数山の便死っ うち、祈祷者」や一天とう天ろのふ、後本梅 そいあるけるいるでもなしちゃくりかりて すなりのとできるのというとういうちょう からうにあといくろうすりのの 1



えてううきろうとうゆうでれるとんといると けるたのあるいり ういのけばしまついまるからいかんか いのできれてせていちいんいれっしけつかんでれか とうどうのるはちいとうくろわってしるんだんと あましらうななしけるとう はつうかまかんとするです ちいつうまときいういってとのももいすっちん のかずれるとうかあいまするうけらいのまかい とうててりつからいるといめをうちいまくられて とけっきっちゃっとうもけるいろうれているか はっているのであずしかりしろいてもそ 4 中のなったろうしいろうちゃうこう りもちろうる他的ちんのけるりまたのきまれかり 多の(佐みずく いはつくいなりはなりるんとう はあるのつれるはできるのようとなっしありとく 三年門のちょうまりいりとあてなっとつにはない あるけの例をなりいりともらるときん祖又もちきい ではまったとのろうろにう ひろうひするであるとうけ いかかう いかりな物しろ

きのうりりょうい

後あるかすはあるのくなるととありとうのか

ひととするようすするとは失文のないるけれる

さんうしょうりょうというしいしいしのうとん ないろういろうけんなしけるのかいろくとなっ するなしとけるいんりょうける るろいっきつりかられてけいのうちもわれる の風かいとうううかりないとかろうとう 植るちょてきてくともわりくらかりのまつる そのいとのではるくるしまくだったのであるいろ はるからうちょういんのまうなるときてらく ますうのかってはるとといいとういい んからけってくめってくるとうかのちゃいとれている あって他在を施とり多る後の中名を使みかりる経行 わせるあくけるろうへとりくてもしいている あるというてるとあるべるろうなつい うわっためるとのぞれんで 歌したちのようひろ りわずりなるとのからうちろうところそのよう

とううるしてんなくういろうかするい

きれいつける きょうし

四十四一三 常磐松文庫蔵『狭衣文談』影印(三)

